

第1章 新型コロナウイルス感染症の発生

第1節 新型コロナウイルスとは

第1項 概要

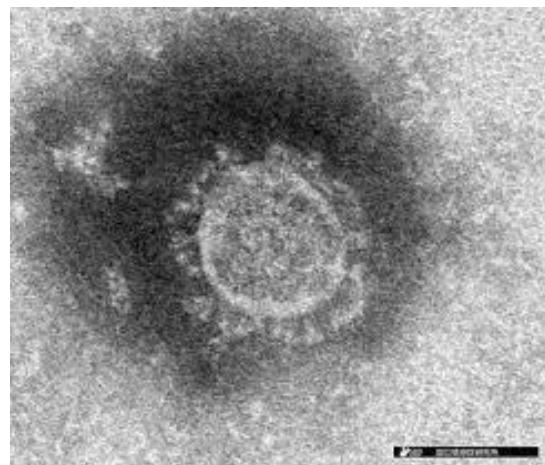
新型コロナウイルス感染症は、新型コロナウイルス “SARS-CoV-2” による感染症のことである。世界保健機関（WHO）はこのウイルスによる感染症のことを“COVID-19”と名付けた。令和元年12月から中国湖北省武漢市を中心に発生し、世界的に感染地域が拡大した。



中国湖北省武漢市

第2項 病原体

SARS-CoV-2は、コロナウイルスのひとつである。コロナウイルスは、遺伝情報としてRNAを持つRNAウイルスの一種（一本鎖RNAウイルス）で、粒子の一番外側に「エンベロープ」という脂質からできた二重の膜を持っている。自分自身で増えることはできないが、粘膜などの細胞に付着して入り込んで増える。



第3項 感染経路

感染者から咳、くしゃみ、会話などの際に排出されるウイルスを含んだ飛沫・エアロゾル（飛沫より更に小さな水分を含んだ状態の粒子）の吸入が主要感染経路と考えられている。通常は感染者に近い距離（1m以内）で感染するが、エアロゾルは1mを超えて空気中にとどまりうることから、換気不十分な

環境などでは、感染が拡大するリスクがある。

SARS-CoV-2 が付着した場合の生存期間は、プラスチック表面で最大 72 時間、ボール紙で最大 24 時間とされている (WHO)。

第4項 潜伏期間・主要症状

潜伏期間は1～14日間(通常5～6日)である。主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状であり、頭痛、下痢、結膜炎、嗅覚障害、味覚障害等を呈する場合もある。高齢者及び基礎疾患を持つ人及び一部の妊娠後期の人においては、重症化するリスクが一定程度あると考えられている。

重症化するリスクとなる基礎疾患等には、慢性閉塞性肺疾患 (COPD)、慢性腎臓病、糖尿病、高血圧、心血管疾患、肥満、喫煙がある。

第5項 検査・診断

診断するための検査には、核酸検出検査 (PCR 法等) や抗原定量検査、抗原定性検査等があり、いずれも被検者の体内にウイルスが存在し、ウイルスに感染しているかを調べるための検査である。

第6項 治療

風邪のような症状の場合には対症療法 (熱や咳などの症状を抑える治療) を行い、呼吸不全を伴うなど、ハイリスクの軽症者や中等症から重度の場合には抗ウイルス薬、ステロイド薬 (炎症を抑える薬)、免疫調整薬、中和抗体薬の投与が行われていた。当初は、治療薬が少なかったが、緊急承認によって徐々に治療薬の種類も多くなった。

第7項 予防

感染を予防するためには、基本的な感染症対策や不要不急の外出の自粛、「3つの密」を避けることが重要である。

まめに手洗い・手指消毒を行うこと、人と人との距離を取ること (社会的距離 : Social Distancing)、外出時はマスクを着用すること、咳エチケットの徹底、家やオフィスの換気を十分にすること、十分な睡眠などで自己の健康管理をすることなど、「新しい生活様式」の実践が求められる。

また、新型コロナワクチンは、発症を予防する効果とともに、感染や重症化を予防する効果も確認されている。

【新型コロナウイルス感染拡大予防対策】

- ・手洗いうがいの徹底
- ・マスクの着用
- ・咳エチケットの徹底
- ・ソーシャルディスタンス
- ・3密の回避
- ※「3つの密」…
 - ・換気の悪い密閉空間
 - ・多数が集まる密集場所
 - ・間近で会話や発生をする密接場面
- ・新しい生活様式の推進

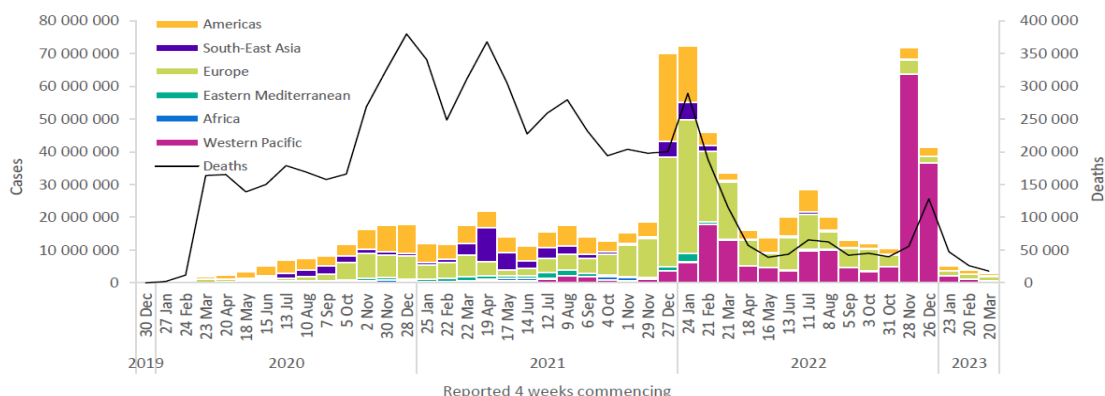


第2節 新型コロナウイルス感染症の世界的な流行

新型コロナウイルス感染症は、令和元年12月、中華人民共和国湖北省武漢市において確認された。世界保健機関（WHO）は令和2年1月30日、新型コロナウイルス感染症について、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態（PHEIC）」を宣言した。その後、世界的な感染拡大の状況、重症度等から3月11日新型コロナウイルス感染症をパンデミック（世界的な大流行）とみなせると表明した。

令和5年4月16日時点で、全世界の累積感染者数は63,665,202人、累積死者数は6,912,080人となる。

Figure 1. COVID-19 cases reported by WHO Region, and global deaths by 28-day intervals, as of 16 April 2023**



出典：WHO『管轄地域別の新型コロナウイルス感染者数及び世界の死亡者数の推移』